

講習の名称：映像メディア・ワークショップ

担当講師：茂木一司（教育学部教授）

講習開講日：2019年8月17日（土）

時間数：6時間

主な受講対象者：幼稚園教諭、小学校教諭、中学校・高等学校美術科教諭。ワークショップもしくは映像メディア表現に興味がある者（表現技術は不要）。

キーワード：造形美術教育、映像メディア、ワークショップ、アニメーション、ムービー製作。

講習の概要：

造形美術教育分野の「映像メディア」をワークショップ（参加協同型学習）で学びます。グループでのアニメーション（もしくは映像）制作を通して、「主体的で深い学び」を体験します。「映像メディア」表現の特質を理解し、現代社会に必要なメディアリテラシーを学ぶことを目的とします。なお、幼児教育及び小学校におけるメディア活用の観点から、幼稚園教諭及び小学校教諭も対象とします。（教育学部パソコン教室を使用）

講習の展開：

- 第1時限 【講義】映像メディア時代の（美術）教育はどうあるべきか？多元的共生社会における協同と表現の学びを考える。
- 第2時限 【ワークショップ】自己の教育の振り返り、今後必要な教育観を確認する
- 第3時限 【ワークショップ】ショートムービー（逆転時間ワークショップ）の演習
- 第4時限 リフレクションとまとめ

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

映像制作には技術は不要ですが、映像メディアやメディアリテラシーに興味がある人が望ましい。テキストとして、[茂木一司代表編集『協同と表現のワークショップ 第2版』東信堂、2014]を使用するので、受講者は持参すること。

授業の形式：講義とワークショップ

履修認定試験：

ワークショップでの作品提出（発表）とそのリフレクション及び論述形式の筆記試験（ノートと配付資料は持ち込み可）。講義とワークショップを通して受講者が現代の映像メディア教育の問題について、どのように考察を深めたかを問いたい。

テキスト：茂木一司代表編集『協同と表現のワークショップ 第2版』東信堂、2014

参考文献：茂木一司他編集『美術科教育の基礎知識 第4版』建帛社、2010

荻宿俊文他編著『ワークショップと学び2 場づくりとしての学び』（共著、東京大学出版会、2012）